

2021 年 5 月

一般社団法人 小郡三井医師会
会長 島田昇二郎 様

一般財団法人
久留米・筑後移植医療推進財団
事務局
〒830-0011 久留米市旭町 67
メール ktf-info@basil.ocn.ne.jp
電話 0942-48-1578

終末期医療・移植医療に関わる
アンケート協力をお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当財団は、2020 年度より「終末期医療・移植医療に関わるアンケート」を実施しています。
本年度も引き続き、地域の医療機関や教育機関の皆様のご協力を得て、アンケート調査を進めて参ります。

6 月までに予定しているアンケート調査の対象地域は、筑後地域（八女・筑後圏域、久留米圏域、有明圏域の 12 市町）と福岡地域の一部（朝倉圏域 3 市町村）です。すでに、久留米大学病院、聖マリア病院、大牟田市立病院、新古賀病院（順不同）など 8 病院と 2 大学に協力いただき、作業を進めています。

本日は、貴医師会所属の医療機関各位にアンケート調査のご協力を賜りたく、当財団の藤堂省理事（聖マリア病院研究所長）による趣旨説明書と関係資料、アンケート用紙（サンプル）をお送りします。

理事会にお諮りのうえ、アンケートにご協力いただける場合、①A 会員数（病院、診療所の開設者・管理者、勤務医）、②病院・診療所勤務の看護師・事務職員数 - を財団事務局までお知らせください。折り返し、回収方法などを記した依頼書とアンケート用紙をお送りいたします。

医師会各位におかれましては、新型コロナ対策などに追われ、大変ご多忙の時機とは存じますが、何とぞよろしくお願いいたします。

不明な点などありましたら、事務局までお問い合わせください。

敬具

小郡三井医師会会長
島田昇二郎先生

前略

先日は、八医師会会長会議にお呼び頂き、「一般財団法人久留米・筑後移植医療推進財団」の広報誌配布と各医師会会員の方々のアンケート調査をご快諾頂き、誠に有難うございました。このうち、アンケート調査に関しては各医師会事務局から説明資料を提出して欲しい旨の要請を、財団事務局が受けましたので、当日用いたスライドの主要部分でご説明致します。

「一般財団法人久留米・筑後移植医療推進財団」は設立して丸一年が経ちます。(スライド 1)当初は、移植医療推進活動を計画していましたが、現在は、久留米医大を中心とする主な病院と住民の声を反映して、住民の健康、病気の知識と関心を高め、終末期医療や移植医療の理解を深めるより広い活動を目的としています。(スライド 2)人は健康に過しても、いずれは終末を迎えます。そのためにも、日本医師会が指導するように、「人生の最終段階における医療」に対する住民の理解と判断が不可欠です。(スライド 3)救命の可能性が無くなった終末期において、医師団の正確な説明により、家族は患者の推定意思に基づいて治療法を選択し、最後に脳死あるいは心停止後の臓器提供について判断することになります。(スライド 4)海外に比べて、わが国では脳死法案成立後 20 年も経つのに、未だに脳死提供が開発途上国並みで、脳死移植を待つ患者の 4 割が、待機中に死亡しています。韓国を含め外国では移植で助かる命が日本では喪われています。(スライド 5)一昨年久留米市で公開講座を開き、市民(50 歳以上、220 人)の延命治療と臓器提供に対する意識調査を行いました。その結果 1/4 の方々が、意思表示をされていることが判明しました。(スライド 6)同様な調査を聖マリア病院職員(1720 人)に行ったところ、医師以外でも 4 割近くが「脳死はヒトの死であると答えました。更に、看護大学学生(100 人)で講義前後に質問すると、脳死を容認するものが 15%増加していました。(スライド 7)本財団の将来像は、健康、病気、終末期医療、移植医療に関する様々な問題について、医療関係者と住民の間で双方向性のコミュニケーションを構築したいと考えております。

各医師会会員の方々へのアンケート調査は、現在コロナ禍のために控えておりますが、今後頻繁に行う講演、広報活動の成果を判断する基礎データにしたいと考えております。ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

草々

令和 3 年 5 月末日

一般財団久留米・筑後移植医療推進財団理事
藤堂 省

命を守り 命をつなぐ

「命」は例えば筑後川の流れです。
阿蘇山に源を発し、谷を下り、田畑を潤し、
幾つもの国と町を流れ、有明海にそそぎ、
やがて雲となり雨として山に戻ります。
時に暴威をふるいますが、
川は、幾世紀にもわたって、私たちの「命」と
私たちの郷土を守ってきました。
この川の流れるような「命の大切さ」を
皆さんと一緒に考えましょう。

一般財団法人
久留米・筑後移植医療推進財団
Kurume-Chikugo Transplant Medical Promotion Foundation

筑後川水系は、上流・中流・下流で五回も河川名を変える。
撮影場所：冬の朝、朝倉市杷木志波の小高い山頂より筑後平野を望む。

INOCHIwo
MAMORI
INOCHIwo
TSUNAGU
2021

第1号

住民と医療関係者との信頼関係：

住民

- ・健康、病気、終末期医療、移植医療に対する正しい知識
- ・知識にもとづく判断と共有
- ・コロナ禍の影響

医療関係者

- ・住民に対する適切な情報発信と助言
- ・終末期、移植医療に関する意識の向上

財団活動の実際：

住民

- ・広報誌、市民講座、ホームページ、ソーシャル・メディアetc
- ・「命の相談室」
- ・アンケートによる意識調査

医療関係者

- ・住民に対する適切な情報発信と助言
- ・終末期、移植医療に関する意識の向上
- ・アンケートによる意識調査
- ・医療関係者、施設の連携

延命治療に対する意思の表明

●セクション A; 心肺停止の場合; 心肺蘇生術 (CPR) について

- ☐ すべての心肺蘇生術を実施してください; Resuscitate (Full Code)
- ☐ 心肺蘇生術を実施しないでください

●セクション B; 心肺停止の状態ではない場合

【生命を脅かす疾患に直面しているが、CPA の状態ではない場合; 一つを選ぶ】

- ☐ 苦痛緩和を最優先とする医療処置 (a)
- ☐ 非侵襲的医療処置 (b)
- ☐ 侵襲的医療も含む医療処置 Full Treatment (c)

●セクション C; その他の医療処置 人工的水分補給

- ☐ 経管栄養 (胃ろうを含む) を実施する
- ☐ 経管栄養を実施しない 抗生物質および血液製剤
- ☐ 点滴を実施する ☐ 抗菌剤を投与する
- ☐ 点滴を実施しない ☐ 抗菌剤を投与しない
- ☐ 人工透析を実施する ☐ 血液製剤を投与する
- ☐ 人工透析を実施しない ☐ 血液製剤を投与しない

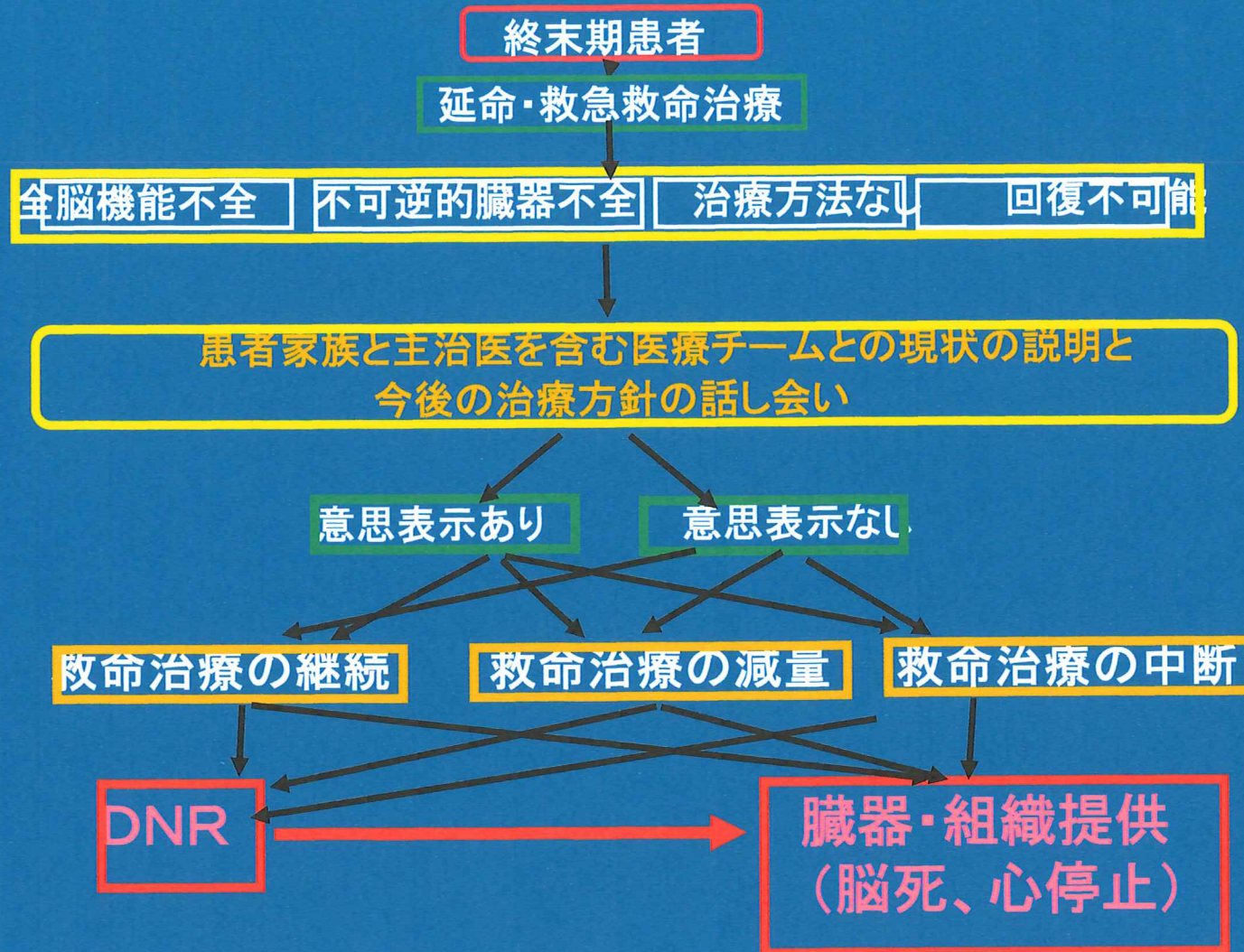
●セクション D; 患者による事前指示 (以下の書類が存在します)

- ☐ なし
- ☐ リビングウィル (望まない医療処置の内容)
- ☐ 医療に関する代理判断者の指名

2021/5/25



終末期医療



脳死臓器提供が極めて少ない日本

日本における脳死臓器移植 脳死移植待機患者

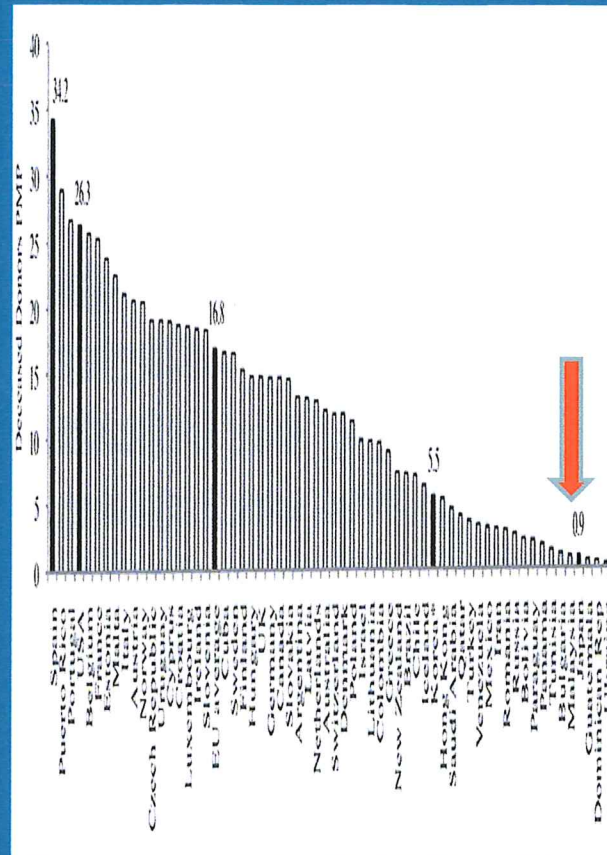
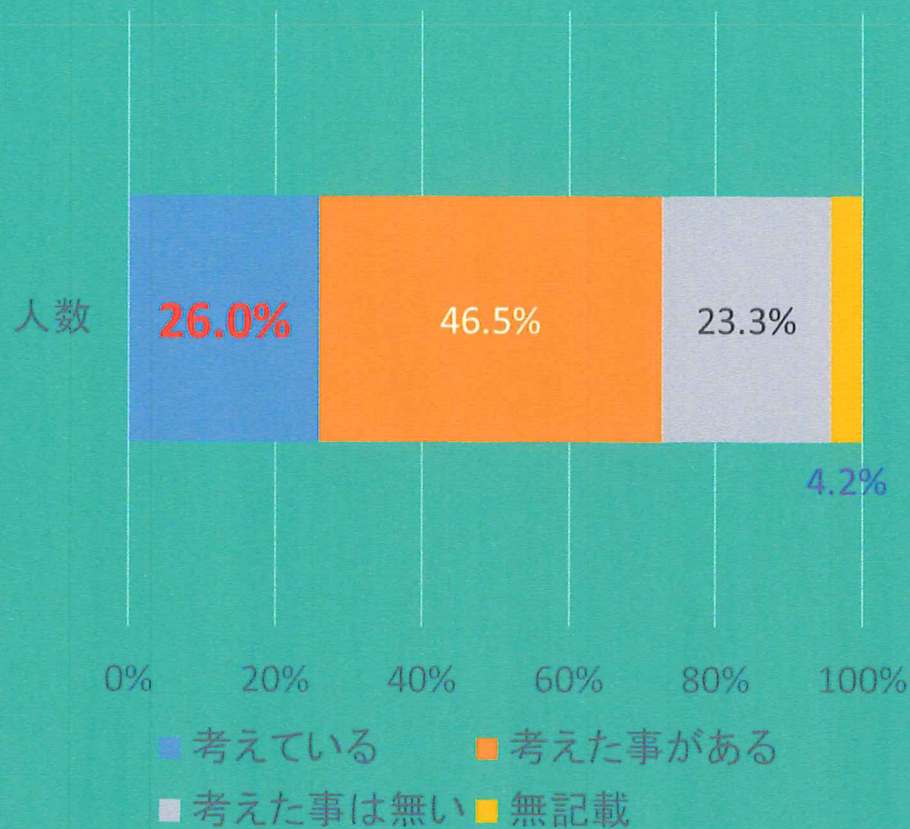


図1 2008年世界61カ国における人口百万人当たり死体ドナー数

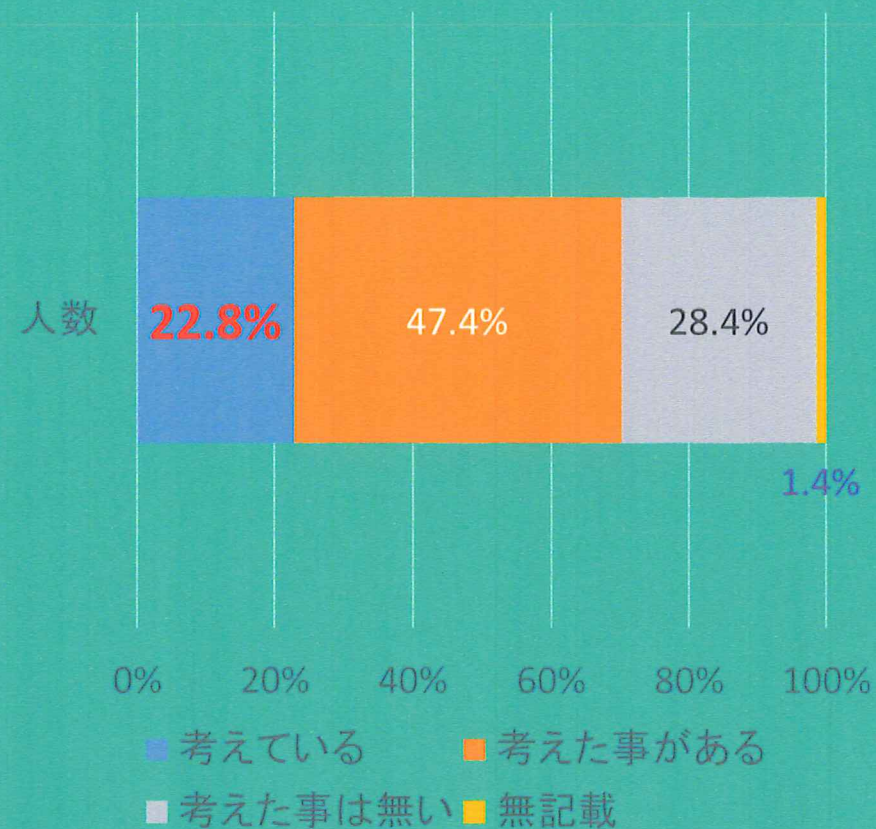
	心臓	肺	肝臓	腎臓	脾臓	小腸
待機患者	177	150	260	11,649	183	6
登録者累計	445	454	1059	33,675	305	13
既登録者転帰						
脳死・心停止移植 (16.4%)	73 (15.8%)	72 (15.8%)	73 (22.6%)	2,551 (53.8%)	69	7
生体移植	—	31	177	1,901	5	0
海外渡航	42	2	29	—	0	0
死亡 139 (31%)	196 (31%)	414 (43%)	2,610 (39%)	28 (8%)	0	(9%)
その他	0	0	0	12	0	0

(JOTNW, 2010, 8, 31)

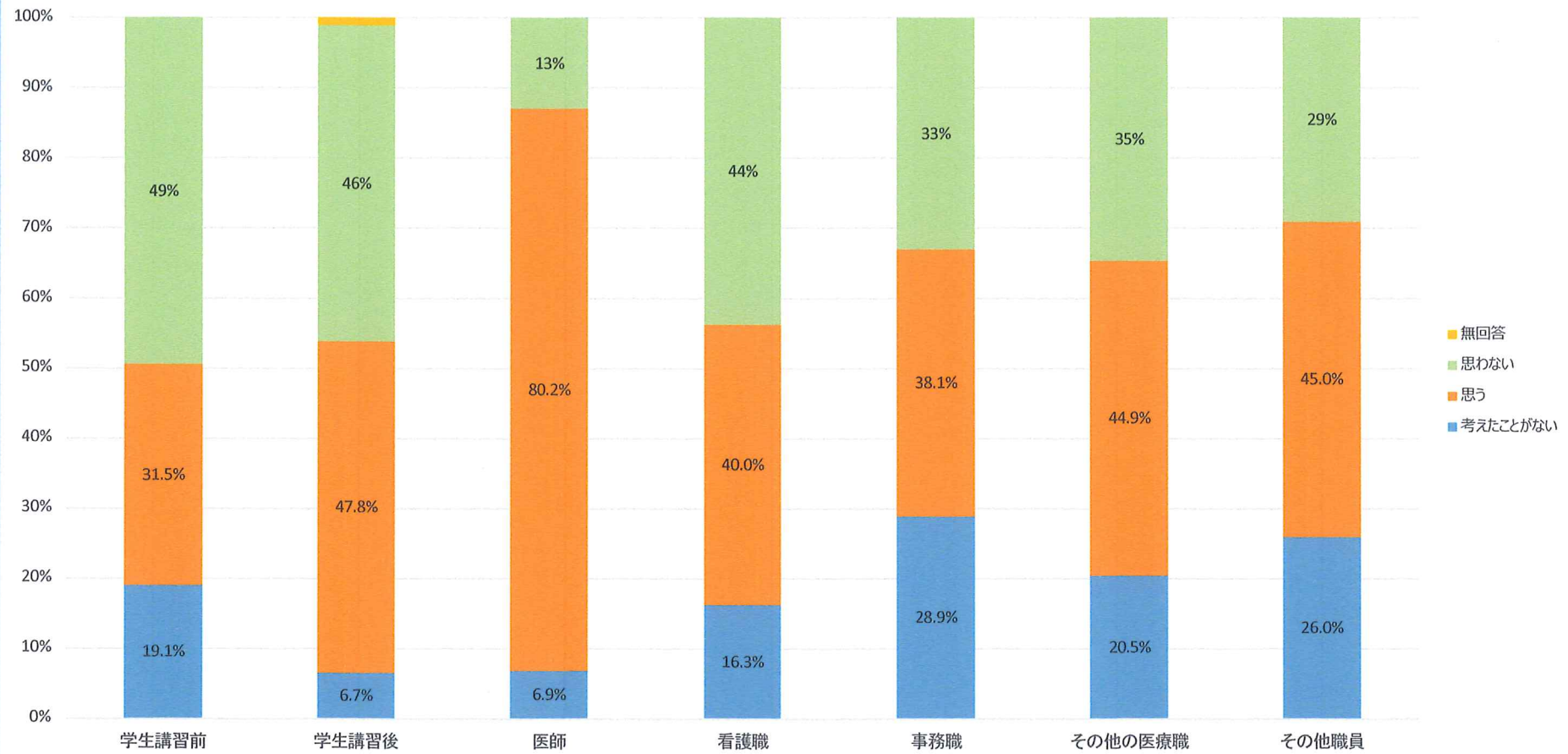
問 8 - 1. これ以上救命のための治療ができない脳死などの場合に
どのような治療を受けるか、受けないかをあらかじめ考えていますか



問 8 - 4. 脳死状態でも心臓が止まった後でも角膜や腎臓を提供できる場合がありますが提供を考えたことがありますか。



脳死は人の死だと思いますか？



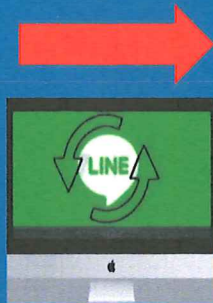
命を守り、命をつなぐ

(久留米・筑後移植医療推進財団)

医療施設

- ・久留米医大
- ・聖マリア
- ・大牟田市立
- ・新古賀
- ・久留米総合
- ・嶋田病院
- ・内藤病院
- ・高木病院
- ・ヨコクラ病院
- ・診療所
- ・クリニック
- ・各医師会

各専門医



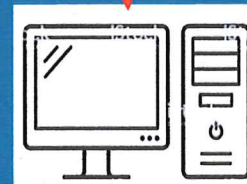
行政



歯科医



老健・介護施設



調剤薬局



その他



広報

- ・新聞、テレビ
- ・市民講座、出前講義

- ・健康
- ・病気
- ・終末期医療
- ・臓器提供
- ・その他

SNS

- ・Facebook・LINE・Google
- ・Twitter・et al



地域住民

「人生の最終段階における医療（終末期医療）」について伺います

※該当項目の□に **レ** をお願いします。

1 年齢（才台）

☐10 ☐20 ☐30 ☐40 ☐50 ☐60 ☐70 ☐80 以上

2 性別

☐男性 ☐女性

3 職種は何ですか？

医療職 …… ☐医師 ☐看護職 ☐その他の医療職 ☐事務職 ☐その他職員

医療職以外 …… ☐会社員 ☐公務員 ☐専業主婦 ☐無職 ☐その他

4 患者さん以外でヒトの「死」に出会ったことがありますか

☐ある ☐ない

5 どのような方でしたか？（複数回答可）

☐親 ☐兄弟姉妹 ☐子供 ☐親族 ☐友人・知人 ☐4で「ない」を選択

6 これまでに、ご自身の「死」を考えた事がありますか

☐ある ☐ない

7 あると答えた方は、何が契機となりましたか？（複数回答可）

☐家人や友人の死に接して ☐高齢になったため ☐メディアの情報 ☐漠然と ☐6で「ない」を選択

8 がんや末期心不全など重たい病気でこれ以上救命のための治療が出来ない場合を「人生の最終段階における医療（終末期医療）」と言いますが、これらの言葉を聞いたことがありますか？

☐ある ☐ない

9 その情報はどこから得ましたか？（複数回答可）

☐新聞 ☐テレビ ☐書籍 ☐講演会 ☐その他 ☐8で「ない」を選択

10 これ以上救命のための治療できない場合に、どのような延命治療を受けるか、受けないかを考えたことがありますか？

☐考えている ☐考えていない

11 延命治療についてのお考えを家族や主治医に伝えていますか？

☐伝えている ☐伝えていない ☐10で「考えていない」を選択

12 延命治療の際に、主に受けたくない治療はありますか？（複数回答可）

☐点滴 ☐輸血 ☐透析 ☐胃瘻 ☐心肺蘇生 ☐その他 ☐10で「考えていない」を選択

「臓器提供」について伺います

13 「臓器移植」をご存知ですか？ ☐知っている ☐知らない

14 それは主に何で知りましたか？ (複数回答可)

☐新聞 ☐テレビ ☐書籍 ☐講演会 ☐その他 ☐13 で「知らない」を選択

15 「臓器移植」では臓器を提供して頂く方が必要ですが、ご存知でしたか？ ☐知っている ☐知らない

16 移植される臓器は、家族の中の健康な生体ドナー、心臓が止まった後の心停止後ドナー、又は脳死で亡くなった脳死ドナーから提供されますが、どれが望ましいとお考えですか？ (複数回答可)

☐生体ドナー ☐心停止後ドナー ☐脳死ドナー ☐どれも反対 ☐わからない

17 家族のために臓器の一部を提供される生体ドナーで、術後に合併症が起こることをご存知ですか？

☐知っている ☐知らない

18 がんや末期心不全など重たい病気でこれ以上救命のための治療が出来ない場合に、心臓が止まった後でも角膜や腎臓を提供できる場合がありますが考えたことがありますか？

☐考えた事がある ☐考えた事は無い

19 日本では生体臓器移植が、欧米や韓国では脳死臓器移植が中心ですが、ご存知ですか？

☐知っている ☐知らない

20 脳死は人の死だと思いますか？ ☐思う ☐思わない ☐考えた事がない ☐わからない

21 脳死又は心停止後の臓器提供についてご自分の意思を表示出来る事をご存知ですか？

☐知っている ☐知らない

22 免許証や保険証に脳死や心停止後に、臓器提供の意思を記載できる欄がありますがご存知ですか？

☐知っている ☐知らない ☐21 で「知らない」を選択

23 お考えを記入していますか？ ☐はい ☐いいえ ☐21 で「知らない」を選択

24 そのことをご家族や主治医に伝えてありますか？

☐伝えている ☐伝えていない ☐21 で「知らない」を選択

25 終末医療ならびに移植医療についての勉強会があれば参加しますか？

☐参加する ☐参加しない

ご意見があればお書きください

{ }

以上、ご協力ありがとうございました。